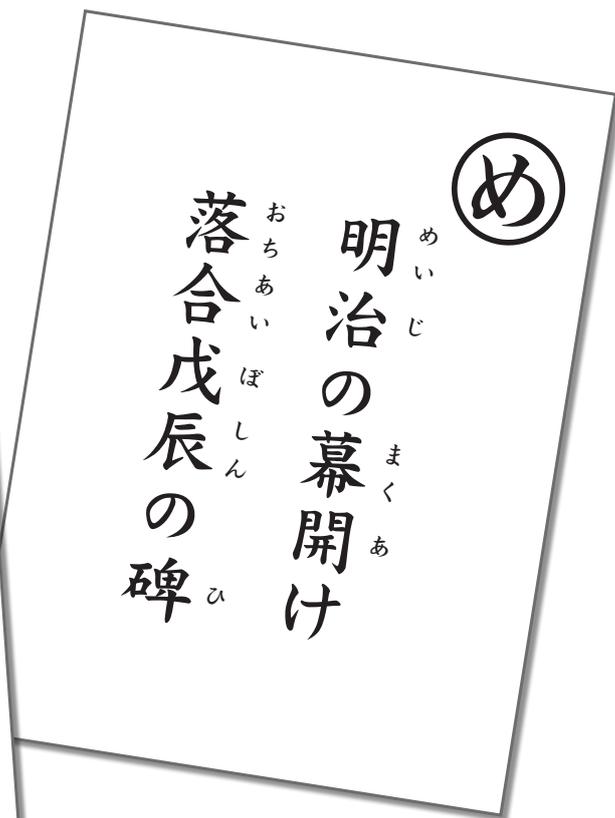


# なかやま

 No.19  
November 2021

発行日：令和3年11月1日  
発行：中山町議会

## 議会だより



シリーズ  
ふるさと  
再発見

中山町の名所を子どもたちが描いた「なかやまカルタ」の  
「戊辰戦蹟碑」 (中山町青少年育成町民会議・中山町教育委員会)

### 時代の変革を今に伝える 「戊辰戦蹟碑」

官軍山形藩と幕府軍荘内藩の戦場となった  
落合地区の橋本邸北側にある「戊辰戦蹟碑」。  
荘内軍は船で川を下り、河湊長崎落合を守  
備する山形藩と激突。(⇒詳しくはP20へ)



### 目次

10月臨時会 議会新体制スタート ..... 2・3

令和2年度決算を認定 ..... 4・5  
決算を徹底チェック ..... 6・7  
令和3年度一般会計補正予算 ..... 8  
私は賛成、私は反対 ..... 9  
意見書、請願と陳情(要望) ..... 10・11  
町政を問う 一般質問 ..... 12~15

9月定例会

6月臨時会 ..... 16・17  
議会活動報告 ..... 18・19  
モニターの声 ..... 20  
なかやま大好き！まち・ひとインタビュー ..... 21  
なかやま スポーツ14番勝負！ ..... 22

# 議会新体制スタート

10月1日、中山町議会臨時会が開かれました。  
 中山町議会では、任期4年を前期2年、後期2年に分け、各常任委員会委員の改選などを行っています。今回は慣例により副議長が辞職し、それに伴う副議長選挙が行われました。その結果、引き続き佐東幸治議員が副議長に当選しました。(右表参照)  
 引き続き、常任委員・議会運営委員の選任などが行われ、以下のとおり決定しました。

副議長選挙の結果  
**当選** 佐東幸治氏 9票

## 議長・副議長あいさつ



議長  
 かまかみ とおる  
**鎌上 徹**  
 (60歳・3期目)

町民の皆さまには、常日頃から議会活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、依然として私たちの生活に影響を与えており、町議会としましては、今後も町執行部と協力し対応してまいります。

安全・安心のまちづくりについても、課題の解決に向け、これまで以上に議論を重ねてまいります。

併せて、議会改革についても、デジタル化を推進し、タブレット等を使用したペーパーレス化、議会の動画配信など、開かれた議会のあり方を議論してまいります。

なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



副議長  
 さとう こうじ  
**佐東 幸治**  
 (57歳・2期目)

2期目途中の若輩者ではありますが、10月1日の体制切り替えで、副議長に再任のご支持を賜り、感謝申し上げますとともに、責任の重さを実感しております。

現在の議会の課題としては、動画配信と資料のデジタル化が挙げられます。将来を見据えた議会の改革を、鎌上議長と協力し進める所存でございます。今後も、町民の皆さまに信頼される議会運営となるように努めてまいります。

皆さまのご指導とご協力をお願いし、ごあいさつ申し上げます。

## 常任委員会・議会運営委員会構成

議長の指名推選により、下記のとおり決定しました。  
 任期は2年で、正副委員長はそれぞれ互選で決定されました。

### 総務文教常任委員会

委員長 渡辺 博文 副委員長 齋藤 眞一  
 須貝 勝司 村山 隆 鎌上 徹

### 厚生産業常任委員会

委員長 鈴木 徹雄 副委員長 佐東 幸治  
 冨田 慎二 佐竹 英規

### 議会広報常任委員会

委員長 村山 隆 副委員長 佐竹 英規  
 佐東 幸治 冨田 慎二 鎌上 徹

### 議会運営委員会

委員長 須貝 勝司 副委員長 佐竹 英規  
 鈴木 徹雄 渡辺 博文

## 議員紹介

※写真掲載は左上から議席番号順



すがい かつし  
**須貝 勝司**



ただ しんじ  
**冨田 慎二**



すずき てつお  
**鈴木 徹雄**



わたなべ ひろふみ  
**渡辺 博文**



さいとう しんいち  
**齋藤 眞一**



むらやま たかし  
**村山 隆**



さたけ ひでき  
**佐竹 英規**

## 各特別委員会・一部事務組合議会等構成

各特別委員会・一部事務組合議会議員等については変更がありません。また、中山町より推薦依頼のあった各種審議会等の委員については、以下のとおり決定しました。(変更者は赤下線)

国道112号及び国道458号整備促進特別委員会	委員長 渡辺 博文	副委員長 佐竹 英規
治山・治水特別委員会	委員長 佐東 幸治	副委員長 村山 隆
柏倉家住宅保存・利活用特別委員会	委員長 佐竹 英規	副委員長 冨田 慎二
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会	委員長 佐東 幸治	副委員長 冨田 慎二

各特別委員会の委員は議長を除くそれぞれ8名

### 最上川中部水道企業団議会議員

佐東 幸治 須貝 勝司 冨田 慎二  
 鈴木 徹雄 渡辺 博文 齋藤 眞一  
 (議会構成：中山町6名、山形市2名、山辺町3名)

### 山形広域環境事務組合議会議員

村山 隆 佐竹 英規  
 (議会構成：中山町2名、山形市7名、上市市3名、山辺町2名)

### 土地開発公社理事

佐東 幸治 須貝 勝司 佐竹 英規

### 都市計画審議会委員

佐東 幸治 冨田 慎二 渡辺 博文

### 介護保険運営協議会委員

村山 隆

### 国民健康保険運営協議会委員

鈴木 徹雄

### 青少年育成町民会議常任委員

渡辺 博文

### 空き家対策会議委員

冨田 慎二 佐竹 英規

### 監査委員

齋藤 眞一

# 令和2年度決算を認定！

## 一般会計 歳出総額 65億4918万円

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた事業や交付金を予定どおり支出できなかったことなど、不用額（P7参照）が多く歳入歳出の差額が4億5881万円と大きくなりました。今後は、予算の執行状況を注視し、早めに補正を組むなどの対処が望まれます。

### 令和2年度決算審査等結果報告

令和2年度中山町一般会計および各特別会計について、7月26日から30日までの5日間、決算審査が行われました。主な内容は以下のとおりです。

- 審査方法
  - 各会計歳入歳出決算書・同実質収支に関する調書のほか、関係書類について提出を求め、併せて関係職員から説明を聴取し、さらに既往の監査の結果等も参考にするなど、慎重な審査が行われました。
  - ・決算の係数は正確か。
  - ・事務・事業が予算どおり執行されたか、また法令に違反していないか。
  - ・財政運営が健全であったか。
  - ・過去における監査指摘事項が改善されたかどうか。
- 審査の結果
  - 全般的にはおおむね妥当な決算であると認められるが、一部に改善を要する事務等が確認されたことから、改善を図りたい。

### 監査委員から町当局への指摘事項

- ・公共下水道使用料の収納状況については、滞納繰越分が年々増加し続けている。収納対策が講じられているところではあるが、成果が上がっていない。収納未済額の解消に努められたい。
- ・予算の流用については、過年度を含め令和2年度も特定の課およびグループに集中している。所管課で適切な予算管理を行い、必要に応じて補正予算を要求する等、予算の流用を極力避けるよう配慮されたい。また、一般会計の不用額が前年度と比較しても大幅に増加していることから、その原因を分析し予算管理の改善に努められたい。
- ・令和元年度決算において、事業規模とコストを意識し費用対効果の観点から予算執行されるよう意見を付していた。事業のあり方そのものについての根本的な見直しを積極的に行うことを勧奨し、もって予算の執行を改めていくことを意図したものであったが、令和2年度決算において見直しが反映された点は限定的であった。今後は、事業の改廃を含めた見直しを進め、事業・予算のバランスに関して適正化を図られたい。

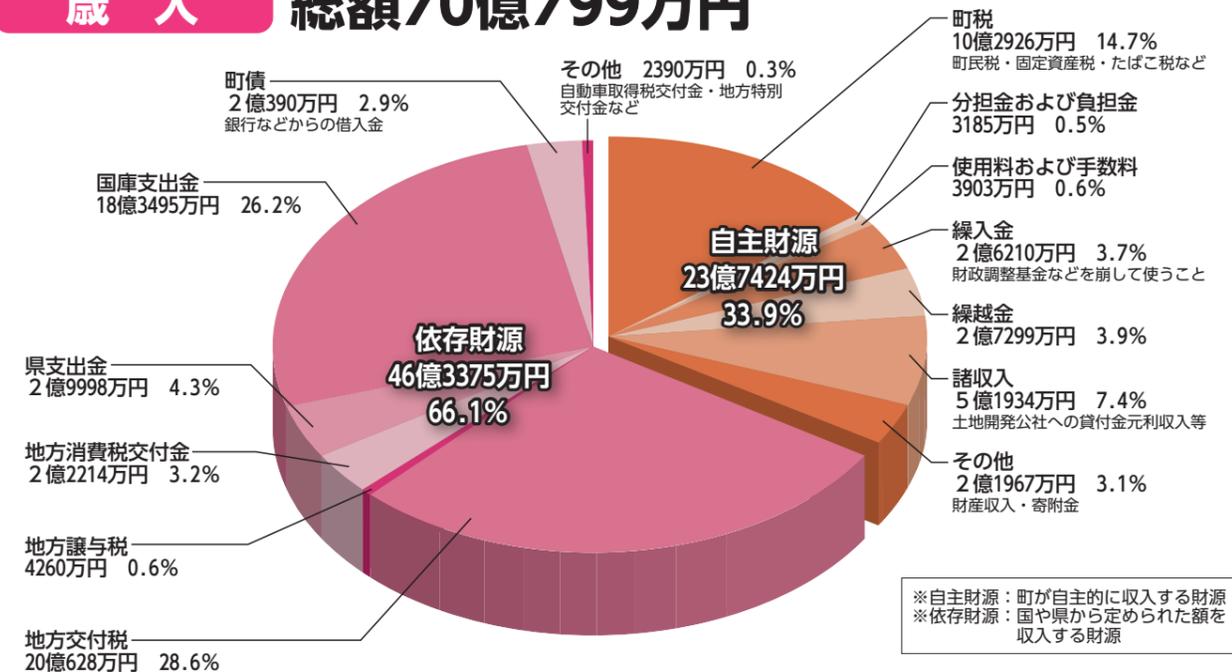
中山町代表監査委員 村山 拓 中山町監査委員 齋藤真一

## 会期

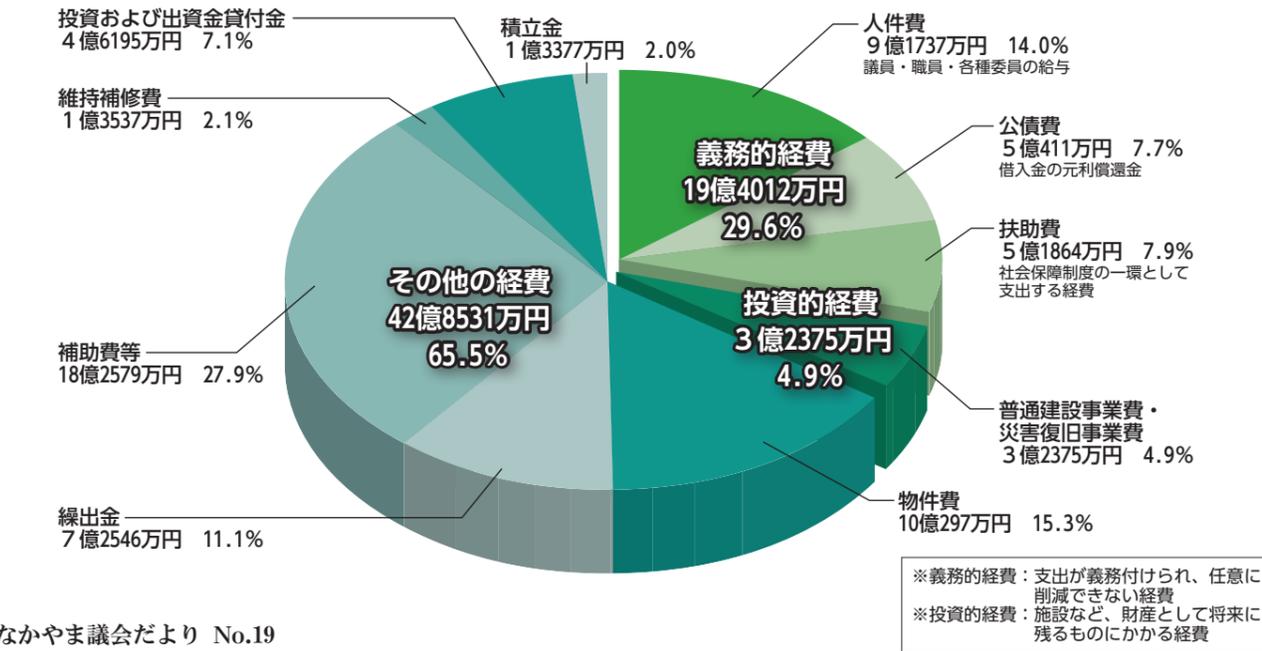
### 9月9日から17日まで

9月定例会は、9月9日から17日までの9日間で開かれました。議事内容は、令和2年度中山町一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定、令和3年度補正予算7件、令和2年7月豪雨の被災者に対する令和3年度国民健康保険税の特例に関する条例の設定のほか、条例の制定1件、意見書の提出2件、人事案件4件などで、すべて原案のとおり可決されました。

## 歳入 総額70億799万円



## 歳出 総額65億4918万円



## 令和3年 中山町議会 9月定例会日程表

期日	会議	備考
9月9日(木)	本会議 (厚生産業常任委員会)	一般質問 議第55号 提案理由の説明 報告 請願1件 議案調査(付託案件審査)
9月10日(金)	休会 (全員協議会)	午前 総合政策課 午後 総務広報課
9月13日(月)	休会 (全員協議会)	午前 住民税務課(国民健康保険・後期高齢者医療) 午後 健康福祉課(介護保険)
9月14日(火)	休会 (全員協議会)	午前 産業振興課・農業委員会 午後 教育課
9月15日(水)	休会 (全員協議会) (議員懇談会)	午前 建設課(農業集落排水・公共下水道事業) 議会事務局
9月17日(金)	本会議 (全員協議会)	議第55号 質疑、討論、採決 議第56号～70号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決

※9月10日から15日までの全員協議会は、令和2年度決算に係る説明、質疑を各課ごとに行ったものです。

## チェック4

## 高校生まで医療費助成を拡大

## 子育て支援医療給付事業

予算額 4347万7000円 決算額 3582万8763円 不用額 764万8237円

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、これまでの0歳児から中学3年生までの入通院の医療費自己負担分に加え、令和2年8月診療分より高校3年生までの通院の自己負担分まで助成対象を拡大した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えなどにより不用額が発生した。



## チェック5

## なかやま健幸くらぶ 3年目の取り組みは？

## スポーツによる健康づくり事業

予算額 2180万2000円 決算額 1805万5255円 不用額 374万6745円

なかやま健幸くらぶ事業は、3年目となった令和2年度も地方スポーツ振興費補助金（1000万円）を活用して実施され、参加者は増加している。しかし、参加目標人数500名に対し、参加者は390名にとどまっており、目標が達成されていないこと、また、参加者が歩数計データをどのように利用するかなど、改善すべき課題が多くある。



## チェック6

## 大雪により除雪費が増大

## 道路除雪委託料

予算額 8468万9151円 決算額 7372万5080円 不用額 1096万4071円

大雪による除雪委託料の不足が見込まれたため、当初予算に加え2度の専決処分による補正（合計5000万円）が行われ、それぞれ1月臨時会、3月定例会で承認した。

令和2年度は町内一斉除雪12回、豊田地区のみの除雪3回のほか、町内各所の排雪、凍結防止剤の散布などを実施したが、2月中旬より降雪量が少なかったため不用額が生じた。



## 令和2年度決算を徹底チェック！

## — 予算は適正・効率的に使われたか？ —

議会の仕事の一つに、行政のチェック機能があります。令和2年度は監査委員から指摘のあった**不用額**の増大と費用対効果を中心に検証します。

## チェック1

## 令和2年7月豪雨による災害復旧事業完了せず

## 農業用施設災害復旧費（補助）

予算額 3675万0000円 決算額 1501万7200円 繰越明許費 2173万2000円

令和2年7月豪雨による農業用施設および農地の災害復旧事業のうち、国の補助を受けて復旧する農道4か所中、2か所の工事が終了した。残りの2か所については、計画の変更が必要になったことから、それぞれ令和3年度に繰り越した。



## チェック2

## 地域おこし協力隊は4名が活動

## 移住定住促進事業

予算額 3329万7000円 決算額 1906万4951円 不用額 1423万2049円

6名分の地域おこし協力隊活動費補助金（960万円）が予算化されたが、令和2年度は新たに2名が着任して4名となったため、決算額は555万円となり不用額が発生した。

なお、令和2年度で2名が任期満了となり、現在は2名が活動している。

また、大学等を卒業後、県内に3年以上居住・就業する学生の奨学金返還を県と連携して支援する、若者定着奨学金返済支援事業（予算額499万2000円）については、2名が助成候補者（決算額304万2000円）となった。



旧柏倉家住宅の清掃をする地域おこし協力隊

## チェック3

## 安心して暮らすために

## 救急医療対策事業

予算額 523万3000円 決算額 102万2880円 不用額 421万0120円

町内日曜当番医体制（3医療機関 第2・4日曜日 9:00~12:00）を維持するとともに、当番業務中に新型コロナウイルス感染症患者との濃厚接触者となり、休業を余儀なくされた場合に備えて休業支援金制度を導入した。今年度は支給対象となる事例がなかったため不用額となった。



## 議会あれこれ Q &amp; A

## Q 不用額って何？

A 不用額とは、主に行政・地方自治において用いられる言葉で「使う必要がなくなった額」のことを言います。

不用額が生じた具体的な原因については、①予算の効率的な執行や経費の節約によるもの、②予算作成後の事情の変更等によるもの、③予算上の見積りや想定が実情と合っていないことなど、多様です。よって、不用額が生じたこと、またはその額や割合が大きいことなどで、予算の見積りが正確ではない、執行が適切ではないといった見方をするのは一面的であり、適当ではありません。

重要なのは、不用額が発生した状況や理由などの問題点や改善点を把握し、それらを将来の予算編成や適正な予算執行に活かしていくことです。



# その議案に私は賛成、私は反対

## 9月定例会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊖欠席 退退席

議案番号	議案名と主要内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		佐東 幸治	須貝 勝司	夢田 慎二	鈴木 徹雄	渡辺 博文	斎藤 眞一	村山 隆	欠 員	佐竹 英規	鎌上 徹
議第55号	令和2年度中山町一般会計歳入歳出決算の認定について										
	令和2年度中山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について										
	令和2年度中山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
	令和2年度中山町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について										
	令和2年度中山町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について										
議第56号	令和3年度中山町一般会計補正予算(第4号)について 歳入歳出予算それぞれ2億5614万円増額し、歳入歳出予算総額を53億2968万3000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第57号	令和3年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ3847万1000円増額し、歳入歳出予算総額を12億5018万3000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第58号	令和3年度中山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ122万4000円増額し、歳入歳出予算総額を1億5024万4000円とする 広域連合納付金1億4312万1000円(保険料等負担金および事務費負担金として)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第59号	令和3年度中山町介護保険特別会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ2469万1000円増額し、歳入歳出予算総額を13億2995万円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第60号	令和3年度中山町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算の総額をそれぞれ変更せず、歳入歳出予算総額を5628万9000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第61号	令和3年度中山町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ612万9000円増額し、歳入歳出予算総額を5億839万2000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第62号	令和2年7月豪雨の被災者に対する令和3年度国民健康保険税の特例に関する条例の設定について 令和2年7月豪雨の被災者を、令和3年度分保険税を減免することにより救済するため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第63号	中山町公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について 地方税法の一部改正に伴い、関係する条例の整備を図る必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第64号	中山町教育委員会委員の任命について 中山町教育委員会委員原田一廣氏は、令和3年9月30日に任期が満了するので、その後任者を任命するため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第65号	中山町固定資産評価審査委員会委員の選任について 中山町固定資産評価審査委員会委員橋本秀郎氏は、令和3年9月30日に任期が満了するが、引き続き同人を中山町固定資産評価審査委員会委員に選任するため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第66号	中山町固定資産評価審査委員会委員の選任について 中山町固定資産評価審査委員会委員亀井浩之氏は、令和3年9月30日に任期が満了するが、引き続き同人を中山町固定資産評価審査委員会委員に選任するため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第67号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の欠員に伴い、新たにその候補者を推薦するに当たり、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第68号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について (⇒関連記事P10)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第69号	令和3年度中山町一般会計補正予算(第5号)について 歳入歳出予算それぞれ200万円増額し、歳入歳出予算総額を53億3168万3000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
議第70号	米の需給調整に関する意見書の提出について (⇒関連記事P11)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*

※注：議長は採決に加わりません。議席番号8番は欠員となります。

# 令和3年度一般会計補正予算(第4号)

9月定例会で第4回目の予算の見直しを行いました。その結果、歳入歳出予算にそれぞれ2億5614万円を増額し、総額で53億2968万3000円とするものです。見直しの主な内容は次のとおりです。

トピックス

## ① ワクチン接種進む (全額国庫負担)

### 新型コロナウイルスワクチン接種事業

10月以降のワクチン接種事業をスムーズに進めるために、事業経費全額を国庫負担で見込み、コールセンター受付業務委託料177万1000円、個別接種委託料831万3000円、集団接種医師等報償276万1000円など、計1471万6000円を増額補正するものです。

ワクチン接種率 (令和3年10月11日現在)

	12歳以上 ～64歳 (6060人)	65歳以上 (4106人)	合計 (10166人)
1回目	5144人 (84.9%)	3804人 (92.6%)	8948人 (88.0%)
2回目	3895人 (64.3%)	3750人 (91.3%)	7645人 (75.2%)

トピックス

## ② 保育料無償化に向けて

### 保育・教育施設給付事業

令和3年9月から県が施行する「山形県保育料無償化に向けた段階的負担軽減事業」に合わせ、町単独費を上乗せし、一定の所得階層世帯の保育料を無償化します。対象は、ぴーすこども園・なごみ保育園・ながさき幼稚園となります。

具体的には、地域型給付費82万5000円、中山町すこやか保育事業補助金352万8000円、中山町保育料段階的負担軽減補助金105万円、計540万3000円(うち、526万6000円は県交付金)を増額補正するものです。

トピックス

## ③ 今冬の除雪体制を整える

### 道路除雪事業



県から購入した除雪ドーザ

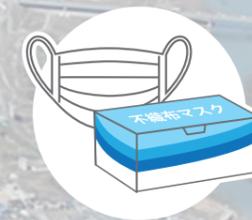
除雪車両稼働状況確認について、GPS端末を活用した除雪管理システムを導入し、除雪に係る町および受託業者の経費節減を図ります。

また、県から払い下げ車両(使用時間約6700時間の除雪ドーザ(13t))を購入し、除雪体制を整えるため、除雪管理システム借上料336万8000円、除雪車両購入費121万円など、計477万8000円を増額補正するものです。

# 令和3年度一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算にそれぞれ200万円を増額し、総額で53億3168万3000円とするものです。

新型コロナウイルス感染症対策として、学校等における感染拡大防止に資するため、3歳から中学3年生までの幼児・児童・生徒約1,010名に、1人につき100枚の不織布マスクを配布するものです。



## 請願と陳情(要望) 9月定例会に請願1件と陳情1件、および要望書2件が提出されました。

請願受理番号第2号「米の需給調整に関する請願について」は、厚生産業常任委員会および本会議において採択となったことから、議第70号として以下のとおり議案が提出され、全会一致で可決しました。

### 議第70号 米の需給調整に関する意見書の提出について



受理年月日：令和3年8月30日

請願者：山形農業協同組合 代表理事組合長 岡崎輝明

山形農協農政対策協議会 会長 岡崎輝明 紹介議員：鈴木徹雄

#### 米の需給調整に関する意見書

コロナ禍による予期せぬ需要減等により主食用米の民間在庫は業務用米を中心に増加し、令和3年6月末で219万トンと適正水準とされる180万トンを大幅に超過している。

農林水産省は令和3年7月29日の食糧部会において、3年産米の生産量見通し693万トン（作付け転換△6.7万ha）をほぼ達成したとしたが、この見通しはコロナ禍による予期せぬ需要減まで見込んでいるものではなく、今後の作況が豊作基調となればさらに生産量は増加する。

2年産米がこの秋以降に持ち越されれば、3年産米の需給緩和と米価下落、加えて4年産作付け転換にも上乘せされ、稲作を根幹とする本県及び本町農業への甚大な影響が懸念される。

については、持続可能な水田農業の維持・発展に向け、下記のとおり強く要望する。

記

コロナ禍による予期せぬ需要減に対して、政府備蓄米の運用改善等あらゆる政策を総動員した市場隔離の実施、さらには倉庫の新設や低温倉庫の改修にかかる支援等、出来秋に向けた出口対策を強化・拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月17日

衆議院議長様  
参議院議長様  
内閣総理大臣様  
財務大臣様  
農林水産大臣様

山形県東村山郡中山町議会議長 鎌上 徹

### 陳情 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情

受理年月日：令和3年6月21日

陳情者：「新しい提案」実行委員会 責任者 安里長従  
全国青年司法書士協議会 会長 阿部健太郎

### 要望 人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請することについて

受理年月日：令和3年7月21日

要望者：沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表 具志堅隆松

### 要望 令和4年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのご願い

受理年月日：令和3年8月31日

要望者：公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇

## 意見書 全国町村議会議長会の依頼により、意見書を提出しました。

全国町村議会議長会からの意見書提出の求めにより、町議会としてこれに賛同するため、意見書提出にかかる決議を行い、全会一致で可決しました。

### 議第68号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

#### コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。
- 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月17日

衆議院議長様  
参議院議長様  
内閣総理大臣様  
財務大臣様  
総務大臣様  
経済産業大臣様  
内閣官房長官様  
経済再生担当大臣様

山形県東村山郡中山町議会議長 鎌上 徹

ここが聞きたい!

# 町政を問う

# 一般質問

一般質問とは、議員個人が町の事務・事業の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員がチェックするものです。  
質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。中山町議会では、質問時間は答弁と合わせて40分以内としています。

## 3人の議員が一般質問

9月定例会では、3人の議員が6件の一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

## 質問者(発言順)

### 佐東 幸治 議員 (13ページ)

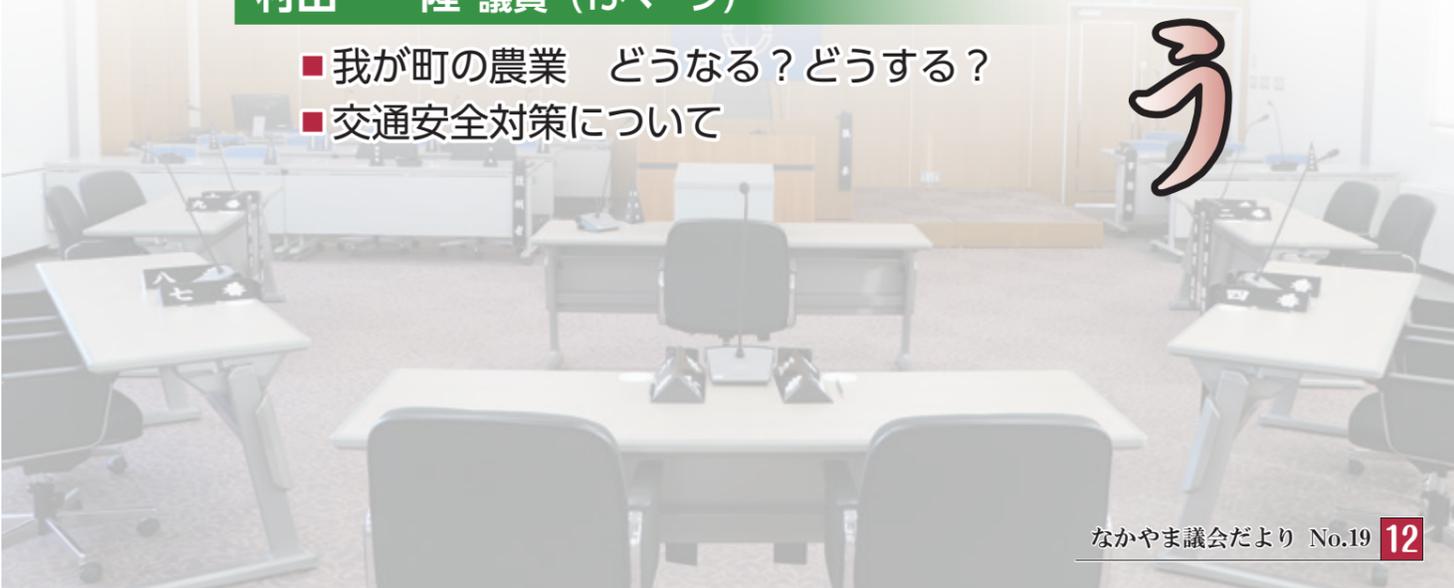
- 景観はそこに住む人を表す

### 畠田 慎二 議員 (14ページ)

- 災害時の行方不明者情報の公表は？
- 今後のふるさと納税のあり方は？
- 年末年始の帰省について

### 村山 隆 議員 (15ページ)

- 我が町の農業 どうなる？どうする？
- 交通安全対策について



# 景観はそこに住む人を表す

**問** 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、清掃・除草活動が中止になった地区があり、町の中は、歩道脇の雑草が生い茂り、歩きにくくなり、景観も悪化している。これでは観光面にも悪影響を及ぼし、町民の皆さんにも不快感を与えてしまっている。

**町長** これらのことから、町の環境美化について伺いたい。まず、今年度、清掃・除草活動を行った地区は何地区あるのか。

**町長** 春の一斉清掃の運動期間中に、ごみ拾

いや公園清掃などを行った地区は、65地区中20地区、「きれいな川ですみよいふるさと運動」は、1回目は19地区が参加している。

**問** 清掃・除草活動を行わなかった地区への対応はどのように考えているのか。

**町長** 町道に関しては、家屋が連坦していない道は年2回定期的に除草するほか、雑草の繁殖状況に応じて、追加で除草を行っている。

これまで「きれいな川ですみよいふるさと運動」では、河川のほ

か生活道路や公園などの除草や清掃に取り組んでいただいたが、令和2年度からは、参加の可否を地区の判断に委ねている。農道の維持管理は、受益者で行っているが、状況に応じて農道

補修用の碎石などの支給をしている。

**問** 来年度も、新型コロナウイルス感染症が収束するのかわからない。状況を見ながら、来年度の環境美化の予算を増額してはどうか。

**町長** 「きれいな川ですみよいふるさと運動」においては、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、業務委託など代替え措置を検討する。また、同運動参加報償額の見直しを検討する。

町道分については、美観維持に必要な事業

量を精査し、来年度予算を算出していく。

また、地域の取り組みをサポートする「まちづくり推進事業補助金」という制度があり、用具の整備や作業の委託など「環境美化の取り組みに活用できる」ということが、各

地域に浸透していない。この制度を、町民の皆さんにわかりやすくお知らせするとともに、より使いやすい制度となるように内容の見直し・検討を行い、必要な予算を確保し、地域における多様な取り組みを柔軟にサポートしていく。

**問** 区域を決めて年間管理委託にしてはどうか。

**町長** 町道の除草に関しては、既に業務委託を行っており、年間管理委託の導入予定はない。

農道については、今後、高齢化等による受益者の減少から維持管理が困難になることも見込まれ、支援予算の増額も検討し、円滑な管理を行っていく。

**私の思い**  
誰もがきれいな町に住みたいと思っていま



佐東 幸治 議員



雑草が道路にはみ出した状態 (総合体育館前)



除草作業により整備された状態 (9月20日 ボランティア団体で実施)



ただしんじ 議員

# 災害時の 行方不明者情報の公表は？

**問** 大規模災害時の死者、行方不明者の氏名公表のあり方について注目が集まっているが、当町においての考え方は。

**町長** 町の個人情報保護条例に基づき、原則的には、家族の同意があるときに、その範囲での公表にとどめるべきと考えている。

**問** 家族全員が行方不明の場合はどうなるのか。

**総務広報課長** 個人情報保護条例には生命、身体または財産の安全を

確保するため、緊急かつやむを得ないと認められる場合は提供できるという規定があるため、それに従って対応する。

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響により、知人宅、ホテルなど、町が開設する避難所以外へ避難する方も多くなると思うが、避難者名簿の作成はどうするのか。

**町長** 町外へ避難された方からの連絡のほか、インフォカナルを利用した確認や、消防団、区長、自主防災会と連携した戸別訪問等を実施して作成したいと考えている。



**問** 具体的な使い道を選んでもいただく、クラウドファンディング型ふるさと納税に取り組んでみてはどうか。

**町長** 他の自治体では、新製品の開発や記念イベント開催、ランドマーク建設など、何かを新たに生み出す記録や記憶に残すプロジェクトにおいて成果が上がっており、こういった場合には大変有効な手段だと認識している。

## 今後のふるさと納税のあり方は？

一方で明確に用途を指定するため、目標額を上回った場合や、達しなかった場合の取り扱いに課題がある。

これらの特徴を踏まえながら、活用にあわせて思いやられるプロジェクトを見極め、活用について検討したい。

**問** 実績報告が町公式ホームページのみで、ポータルサイトなどではされていない。継続的に応援していただく



ふるさと納税も活用して整備された柏倉家住宅駐車場トイレ

取り組みが不足しているのではないかと。

**町長** 実績報告がまだ十分でないこと認識している。町公式ホームページと併せてポータルサイトの機能も活用しながら、成果に関する情報発信に一層力を入れていく。

## 年末年始の帰省について

**問** 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、たびたび県外との往来自粛が呼びかけられ、県外に進学した学生などがなかなか帰省できない状態となっている。いろいろな状況があるとは思いますが、町内でのワクチン接種も進んでいる

ので、年末年始には自粛ではなく、ぜひ「中山町に帰ってきてほしい」と呼びかけてほしいと思うがどうか。

**町長** 当面の間は、県外との不要不急の往来は控えていただく必要がある。全国で感染が落ち着き、往来ができるようになることを心から願っている。そのためにも、今は町内にウイルスを極力持ち込まないよう町民に徹底して呼びかけていく。

## 私の思い

感染対策はもちろん、収束後の取り組みについても検討を進めていただきたい。

# 我が町の農業 どうなる？ どうする？

**問** ここ数年の中山町一般会計決算の全体を見ると、農林水産業費は1億3000万円から1億5000万円、率にして2%から3%と低い金額である。町単独の予算では足りず、国や県の制度や予算措置を総動員して農業予算を増額すべきと考えているが、実態はどうなっているのか。

**町長** 令和2年度決算の農林水産業費1億3673万円のうち、国・県からは2629万円をいただいている。加えて、昨年7月豪雨により被災した農道災害復旧工事につ

ては、国から98%以上の補助を受けている。また、このたびの9月補正で提出している凍霜害・ひょう害の被害を受けた農家への支援についても、県と町が連携して行う事業である。田んぼダムについても同様であり、今後とも国・県と連携し、また、必要な施策については町単独の予算措置を行っている。

**問** 町特産の作物をどう考えているのか。

**町長** 町の基幹作物として、水稲、すもも、さくらんぼ、西洋梨などの果樹を中心に各種支援を行ってきた。また、野菜については施設野菜としてオクラ、路地野菜としては、きゅうり、大根、ほうれん草、白菜を農業振興地域整備計画に掲げ、振興を図ってきた。特にオクラは「花笠オクラ」という中山町のブランドとして販路を確立している。

## 交通安全対策について

**問** 文新田地内に信号機が設置されたことは大変よかったと思う。他の地域の要望等をどのように把握し、そして実現していくのか。

**町長** ひまわりポストや、住民からの要望を地区要望会に提出していただき、町でできることは年度内、または



カーブでも2つの信号機でよく見えます！  
(新設された文新田地内信号機)

翌年度に実施し、国道・県道の案件については、町の重要事業要望として働きかけをしている。

**問** ヤマザワ前交差点に右折信号を設置してほしいという要望があるが、どう考えているのか。

**町長** 通学路の確保については、「中山町通学路安全推進会議」の中で危険箇所の点検・解消に取り組んでいる。グリーンベルトや横断歩道の安全確保も随時協議している。また、警察、学校、商工会、交通安全協会等で構成している「交通安全対策協議会」では、

**町長** 県警察本部交通規制課に問い合わせたところ、国道の青信号の時間を減らすことはできないので、東西県道の直進の青信号の時間を短くし、右折の青信号の時間を確保するしかないとのことである。朝夕の渋滞の時間をさらに招く可能性があり、調査が必要とされる。



むらやま たかし 議員

**問** 「芋煮会発祥の地」である中山町は、昔から品質のよい芋が産出されると聞くが、「里芋」を奨励品種として、ブランド化を目指してはどうか。

**町長** 里芋は水害にも強いという話を聞いたこともあり、面白い提案と受け止める。今後検討していきたい。

## 私の思い

新品種の開発や販路の拡大もあり、新規就農者が大幅に増えたという他市町村の話も聞いている。人手不足や高齢化の中で、「楽しい農業」を仕掛けることも必要な時代だと考える。

### その議案に私は賛成、私は反対

#### 6月臨時会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊖欠席 ⊕退席

議案番号	議案名と主な内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		佐東 幸治	須貝 勝司	冨田 慎二	鈴木 徹雄	渡辺 博文	斎藤 真一	村山 隆	欠員	佐竹 英規	鎌上 徹
52号	令和3年度中山町一般会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ5581万5000円増額し、歳入歳出予算総額を50億7354万3000円とする	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
53号	中山町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号(マイナンバーカード)の利用等に関する法律の一部改正に伴い、関係する条例の整備を図る必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*
54号	中山町手数料条例の一部を改正する条例の制定について 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号(マイナンバーカード)の利用等に関する法律の一部改正に伴い、関係する条例の整備を図る必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	-	○	*

※注:議長は採決に加わりません。議席番号8番は欠員となります。

#### 令和3年 中山町議会 6月臨時会日程表

期日	会議	備考
6月30日(水)	本会議	議第52号~54号 提案理由の説明、質疑、討論、採決

#### 人事案件

##### 中山町教育委員会委員の 任命に同意

さいとう ひでお  
齊藤 秀雄氏  
(川端・65歳)

任期: 令和3年10月1日~  
令和7年9月30日



##### 人権擁護委員

##### 適任と答申

いがらし ゆういち  
五十嵐 裕一氏  
(柳町・62歳)

任期: 令和4年1月1日~  
令和6年12月31日



##### 中山町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

はしもと しゅうろう  
橋本 秀郎氏  
(新田町・71歳 再任)

任期: 令和3年10月1日~  
令和6年9月30日

かめい ひろゆき  
亀井 浩之氏  
(達磨寺・69歳 再任)

任期: 令和3年10月1日~  
令和6年9月30日

### コロナの影響による保護者の 経済的負担軽減を図る

#### 保育・教育施設給付事業

##### 副食費無償化

なかやま保育園およびながさき幼稚園の3歳児以上に対し、令和3年9月から令和4年3月までの副食費の補助を行うため、歳入については「なかやま保育園」の副食費分283万5000円の減額、および歳出については「ながさき幼稚園」への給付費151万2000円の増額補正を行うものです。



しっかり食べて大きくなあれ

#### 学校給食センター運営事業

##### 学校給食無償化

2学期および3学期の学校給食費を助成し、町内小・中学校の児童・生徒分と町外学校通学者分、合わせて2867万2000円の生活支援を行うものです。



おいしい給食が楽しみです

### 早めの行動を促すために 戸別受信機100台購入

#### 防災事業

今年度に整備する防災行政無線(同報系)戸別受信機を当初予算の100台に加えて、さらに100台購入します。まずは75歳以上の高齢者等要配慮者への早期情報提供を図り、逃げ遅れなどを防止するため、通信料と合わせて60万1000円の増額補正を行うものです。



適切な早期情報をお知らせします

# 議会活動報告

## 令和2年度決算を認定 山形広域環境事務組合議会報告

7月27日、山形広域環境事務組合議会7月定例会が開催されました。  
上程議案は下記の2件で、すべて原案のとおり、認定、可決されました。

### 1. 令和2年度山形広域環境事務組合歳入歳出決算認定について

歳入総額は34億9287万1686円、歳出総額は33億9347万6618円で、歳入歳出残額9939万5068円を翌年度へ繰り越しました。

### 2. 工事請負契約の締結について（山形広域グリーンセンター改修工事）

10億100万円で、水ingエンジニアリング株式会社東北支店と請負契約を締結しました。

## 決算あれこれ

### 1 各市町の負担金割合

- 算出方法は主にごみの排出量によるもので、ほかに均等割分などを加味して決定されています。（ごみの排出量÷人口比）  
（人口は各市町ホームページより/令和3年9月現在）

	負担金	人口
山形市	14億7723万3000円 (81.6%)	24万6368人 (82.1%)
上市市	1億7217万9000円 (9.5%)	2万9180人 (9.7%)
山辺町	9071万4000円 (5.0%)	1万3923人 (4.6%)
<b>中山町</b>	<b>7116万0000円 (3.9%)</b>	<b>1万 927人 (3.6%)</b>
計	18億1128万6000円	30万 398人

### 2 処理手数料歳入

- 個人や業者の方が直接持ち込んだごみを計量し、その量に基づいて手数料を算出します。

可燃ごみ（生ごみ・プラスチック等）	3億4135万円
不燃ごみ（廃家電・ビン・カン等）	1820万円

### 3 雑入

- リサイクルセンターに集められた鉄やアルミ、ペットボトルなどを売却した収入と、エネルギー回収施設（立谷川・川口）で発電された電気を売却した収入です。

鉄・アルミ等売却収入	5598万円
ペットボトル等搬出金収入	2183万円
古紙売却収入	11万円
エネルギー回収施設売電収入	①立谷川 1億 600万円 ②川 口 1億3159万円

**\*皆さんから集めたごみは資源として有効に活用しています。  
あわせてごみの減量化にご協力ください。**

次回の定例会は **12月8日(水)～10日(金)** の予定です。  
お気軽にお越しください。 お問い合わせ：中山町議会事務局 ☎023-662-4370

## 令和2年度旧柏倉家住宅関連決算 5131万4000円に 柏倉家保存・利活用特別委員会報告（委員長：佐竹英規）

8月12日、第21回柏倉家住宅保存・利活用特別委員会が開催されました。

最初に今年度の来館者数についての説明があり、県内のほか、宮城、関東からも訪れる方がいること、県内では山形市からの来館者が一番多いこと、7月10日・11日に開催された紅花まつりでは182名が来館したことが報告されました。

また、文化庁からの指導と、地下水専門事業者からのアドバイスを受け湿気対策を行っており、今後必要に応じてポンプによるため池の排水を検討していること、旧柏倉家住宅保存活用計画については他県の類似施設の計画を参考にした説明がありました。

なお、令和2年度旧柏倉家住宅関連決算については下記のとおりです。

（単位：千円）

事業名	内容	予算額	決算額	不用額	財源内訳						
					地方創生 推進交付金	国庫補助金 (文化庁 補助金)	企業版 ふるさと 納税	ふるさと 応援基金 繰入金 (個人版ふる さと納税)	旧柏倉 家住宅 使用料	負担金	一般 財源
施設管理事業	建物や庭園の管理	10,679	10,011	668	628			5,140		48	4,195
修繕事業	保存活用計画の策定・一般修繕	6,661	5,579	1,082		2,492		594			2,493
公開事業	展示資料整備・ガイド運営	13,208	7,949	5,259	3,724			1,172	812	15	2,226
施設整備事業	里山整備・紅花栽培・惣右衛門家トイレ改修・駐車場公衆トイレ新築	33,728	27,775	5,953	11,671		2,500	2,090			11,514
合計		64,276	51,314	12,962	16,023	2,492	2,500	8,996	812	63	20,428

## 臨場感のある広報紙づくりを

### 議会広報常任委員会報告（委員長：村山 隆）

7月21日、山形国際交流プラザを会場に、手に取り・読んでもらえる議会広報編集のポイントを学ぶ実務研修が、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら開催されました。県内町村議会から130名が集まり、中山町議会広報委員5名も参加しました。

- 研修内容 1. 講話「手に取って、読まれる編集とは」  
2. 議会広報クリニック

議会広報紙編集の目安となる、①表紙の魅力、手に取ってもらえる表紙づくり、②読みやすさ、わかりやすさへの編集技術、住民参加、読者への配慮、③発行目的にそった企画・編集になっているかなど、文章、レイアウト、配色について具体的な指導を受けました。



委員一同、真剣な様子

- 中山町「議会だより」第17号についてのクリニック内容

- 表紙の写真は、春らしさを感じられとても良いが、目次の内容が詰め込まれ過ぎており、堅苦しさを感じてしまう。
- 「3月定例会」の内容から、急に臨時会の内容になり、読む側が混乱してしまう。
- 一般質問の問と答弁を簡略化し、議場にいるような臨場感のある編集をするなど良いなどの指導を受けました。





### Oraiカフェの開催情報はInstagramで配信

オリジナルドリンクを準備して、ご来場お待ちしております



活動内容を教えてください。齋藤さん 岡地区にある元柏倉喜作家を舞台に活動する「みんなの居場所岡縁里」、その一角を使つて、不定期で「Oraiカフェ」を開催しています。カフェでは、米を自分で焙煎して作った玄米茶、雑草として駆除されてしまったスギナを使ったお茶、紅花の自家製シロップを使ったクリームソーダなど、ここだけのメニューを提供しています。また、岡縁里の利用者の方が作ったハケゴバツグや農作物、地域の方が作ったハンドメイドの小物なども人気です。

活動のきっかけを教えてください。齋藤さん 大学3年生のときに、ゼミで「柳沢もりあげ隊」と共同活動をする機会がありました。そのつながりで「NPO 法人柏倉家文化村」が運営する「岡縁里」と出会い、活動を始めました。その中で、山形市で使っていた**移動式木造テント(Orai)**を岡縁里に移設することになり、カフェとして利用することにしました。

地域振興に興味を持ったのはいつですか？ 齋藤さん 高校入学当初は県外の大学に進学したいと思っていました。しかし、高校の同級生から「**中山町ってどこ？**」と聞かれたことがきっかけとなりました。そこから「まちづくり」というものに興味を持ち、山形大学に進学し、まちづくりや地域振興の研究をしています。今後は、柳沢もりあげ隊や岡縁里などの「地域活動と地域の持続可能性」について、大学の修士論文としてまとめる予定です。



齋藤さん、ありがとうございました。(令和3年9月26日 取材)

## なかやま大好き!

No.12

「まち・ひとインタビュー」では、中山町が大好きで、町内で活躍する元気な「若者」にインタビュー。第12回は、山形大学大学院生の齋藤由佳さんです。

# まち・ひとインタビュー

## カフェを通して地域に興味を持ってもらい、活動の輪を広げていきたい

### プロフィール



さいとう ゆか 齋藤 由佳さん(24歳)

文新田地区在住  
山形大学大学院  
社会文化システム研究科

長崎小学校、中山中学校卒業。  
町内のさまざまな団体と地域活動をしながら、大学では、まちづくり、地域振興の研究をしている。  
Oraiカフェは月に2日間、不定期開催。

## 広報モニターの声



「議会だより」を町民の皆さまに興味を持って読んでもらえる内容にするため、感想・意見をいただいている「広報モニター」の声をご紹介します。

### 第18号から



- 請願の不採択理由を掲載してもらいたい。賛成少数だけの説明では納得できないのではないかな。
- 特別解説はていねいに説明されており、「議員のなり手不足」に対しての問題提起にもなっている。
- 写真や構成がよいので、読んでいて臨場感がある。
- まち・ひとインタビューについて、これからも多くの中山町で活躍している若者を紹介してください。町の活性化につながると思う。
- スポーツ14番勝負部分は、紹介の仕方にもう少し工夫が必要ではないか。マンネリ化した紹介では、インパクトに乏しいのではないかな。

今回もたくさんの声をお寄せいただきありがとうございました。ご指摘のあった件については検討させていただきます。ご意見、要望等ありましたら、どなたでもお気軽にご連絡ください。



### 連絡先

TEL : 023-662-4370 FAX : 023-662-2538  
Eメール : gikai@town.nakayama.yamagata.jp



## 今号の表紙 落合口の戦いは激烈を極めた

明治元年(1868)「戊辰の役」は、まさに近代日本への脱皮を遂げる画期的な大改革であった。もっとも大きな流血動乱は、北越・奥羽の東北戦争であり、中でも長崎落合口における山形水野藩の大久保伝平知敬(とまたか)を隊長とし、赤星守人(もりと)を副隊長とする24名と、荘内軍との戦いは激烈を極めた。

山形を戦火から守ろうと、山形藩首席家老水野三郎右エ門元宣(もとのぶ)は、官軍に従い防備体制を固めた。第二陣として本陣を達磨寺の豪農原田与惣右エ門宅に置き、第一陣の落合には、広大な屋敷構え(約一千坪)をもつ橋本三九郎家を選び警備に当らせた。橋本家では、一家を明け渡して家族は縁故に避難し、落合地区の人達も、老人や子どもは他村に避難していた。

閏(うるう)4月4日明け方、橋本邸の庭先で砲弾が炸裂し、それを合図に陣の軒下から猛烈な銃声が起こり、雨戸にバラバラと弾丸が飛んできた。突如寝込みを襲われた大久保隊は、武装の暇もなく、大久保伝平(52才)は全身に銃弾を浴び、更に三十数カ所の刀傷を受けながら、赤星守人(42才)と隊士4名とともに壮烈な最期を遂げた。

事前に山形藩家老水野は、酒井藩荘内軍主将酒井兵部(ひょうぶ)に密使を送り、荘内軍と戦う意思のないことを伝え、これを諒承しているつもりでいたが、荘内勢中村次郎兵衛「最上隊」に伝えられなかったために起こった不本意な戦いであった。(ふるさとの文化財「中山町文化財保護審議会」より)



橋本邸に今も残っている銃弾の痕跡

「戊辰戦蹟碑」は、当時の壮絶な戦いを悼み、子孫の第13代山形市長を務めた、政治家の大久保伝藏氏(山形軍隊長 大久保伝平の子孫)・戦場となった橋本家・地元関係者によって、昭和34年に建立されました。

当時の様子は、今も地区の方々により語り継がれ、中山町文化財保護審議会による図書『ふるさとの文化財(中山町)』にも、詳細に記録されています。

表紙シリーズ「ふるさと再発見!」では、地元の人しか知らない、知っているけれど見たことがない、そんな風景・造形・自然などを紹介しています。地域の隠れた魅力、自慢の風景など、紹介したい場所や物がある方は、町議会事務局(☎023-662-4370)まで、お気軽にご連絡ください。

スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

# スポーツ 14番勝負!

その2

なかやま議会だよりの最終ページは、町内の各団体を紹介してきました。

連載シリーズ第3弾は、「スポーツ14番勝負!」と題し、中山町スポーツ協会加盟の14団体を紹介します。今回は、「空手道部」と「スキー部」の2団体です。

## 3番 空手道部

昭和22年、中山町川端の石澤佑造先生（石澤酒店）が、近くの天性寺境内で空手道の練習を始めました。これが山形県内で一番早い空手道の取り組みであったと言われ、戦後の混乱期、武道の精神を守り、青少年の健全な育成のために活動を始められたそうです。

私たち空手道部は、石澤先生の意思を継いで、日々練習と空手道の普及に努めています。現在、会員は年長児から70代までの幅広い年代で活動しており、水曜日と金曜日の週2回、厳しく、そして楽しく活動しています。興味のある方は、ぜひ、石川までご連絡ください。



主な活動内容：山形県ジュニア空手道選手権大会・東北少年少女空手道選手権大会・全日本少年少女空手道選手権大会・山形県社会人大会 出場・入賞

代表者：石川寿広 いしかわとしひろ 会員数：20名 問合せ先：☎023-662-4657

## 4番 スキー部

私たちスキー部は、平成元年に発足しました。主にZAO猿倉スキー場をホームゲレンデとし、楽しみながら活動しています。発足時はスキーブームもあって30名程のメンバーがいましたが、

現在は15名となり、それぞれの目標をもって、交流を深めながら技術向上に取り組んでいます。また、雪国の子どもたちにスキーの楽しさを知ってもらおうとスキー教室も行っています。初めてスキーにチャレンジする方から、よりレベルアップを目指したい方、ゲレンデにシュプールを描いてみませんか。



主な活動内容：ジュニアスキー教室、スキースクールインストラクター、練習会2～3回（県外遠征含む）

代表者：石川尚寿 いしかわなおとし 会員数：15名 問合せ先：☎090-2602-9633

## なかやま議会だよりの

No.19

発行日：令和3年11月1日

発行：中山町議会

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地

TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538

E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp

印刷：大場印刷株式会社

## 編集後記

秋も深まり、周りの山々も頭に白い帽子をかぶる季節となりました。第19号「なかやま議会だよりの」は、9月定例会令和2年度決算審査を中心に編集を行い、議会の様子をお伝えしようと思いがけました。

今後も、町民の皆さまに寄り添った議会活動を行いながら、それを伝える「議会だよりの」となるよう努めてまいります。

（佐東幸治）

議会広報常任委員会

委員長 村山 英規  
副委員長 佐竹 幸治  
委員 佐東 幸治  
委員 伊田 慎二  
委員 鎌上 徹